

楽しく安全なドライブのために

「安全な速度」と「車間距離」をとりましょう

死亡事故の約10%がスピードの出し過ぎによるもの。規制速度を守って走行しましょう。車間距離を十分にとることによって、落下物等の危険を回避することもできます。



全席シートベルト着用!

シートベルトは前席だけでなく、後席も着用しましょう。また、高速バス乗車時も必ず着用しましょう。

シートベルト非着用者の車外放出死者の割合は着用者の21倍!



(警察庁:シートベルト着用に関する統計資料(平成27年中))



眠気を感じたら、無理せず休みましょう

高速道路運転中は2時間周期で眠気が強まります。眠気を感じなくても2時間以内に休憩しましょう。

わき見運転に注意!

わき見運転による事故が多発しています。景色に見とれたり、携帯電話・スマートフォンを使用しながらの運転はやめましょう。



動物に注意!

シカやキツネなどが不意に飛び出し、事故になることもあります。前方をよく注意して走行し、もし高速道路上でみかけた場合は、車を停止させてから、道路緊急ダイヤル(#9910)への通報をお願いします。



逆走に注意!

高速道路は一方通行です。本線上や料金所、サービスエリア・パーキングエリア付近でのUターン、バックは絶対にしないでください。逆走している車を見ついたり、自分が逆走していると気付いたら、路肩に車を停車させ、非常電話または#9910で通報してください。

事故や故障にあったら

落下物、逆走車、人や自転車の立ち入り、路肩の崩壊、路面の穴ぼこなど、車両の通行に支障となる道路の異常・緊急事態を発見した時は、道路緊急ダイヤルにお電話下さい。

非常電話 1km(トンネル内200m)おきに設置
道路緊急ダイヤル #9910 (キューキュートラブル)
※携帯電話・PHSからご利用いただけます。

トラブル発生時の対応



事故や故障が発生したら

① 車両を路肩へ移動	② 通報してください	③ 安全なところへ避難
<p>車両を路肩へ移動し、ハザードランプを点灯してください。停車後は発煙筒や停止表示器材を使用し、後続車へ合図しましょう。</p>	<p>火災、ケガ、急病人【119】へ事故【110】へ その後、「非常電話」、または道路緊急ダイヤル【#9910】へ</p>	<p>後続車による衝突事故を避けるため、車道にとどまらず、路外や路肩へ避難しましょう。</p>

※事故や故障により車両が動かない場合は、レッカー車の手配もお願いします。



トンネル内で火災が発生したら

① 通報してください	② 安全を確かめて、初期消火!	③ 火災が拡大したら避難!
<p>「トンネル内非常電話」で通報 200m間隔で設置</p> <p>「押しボタン式通報装置」で通報 50m間隔で設置</p>	<p>「消火器」または「消火栓」で消火 消火器、消火栓は50m間隔で設置 ※消火栓はトンネルにより設置されていないところもあります。</p>	<p>「出口」または「非常口」へ避難 避難する時のお願い 1.車を左に寄せ、エンジンを停止 2.ドアロックはしない 3.キーはつけたまま ■誘導避難標識で方向を確認</p>

トンネル入口情報板に「進入禁止」が出ていたら

- ①トンネル内で事故や火災が発生していますので、トンネルには入らないでください。
- ②ハザードランプを点灯させ、車両を左に寄せて停止してください。

※トンネル内に進入すると、二次災害をひきおこす恐れがあります。



ETCバーが開かずそのまま通過してしまったら

ETCレーンには時速20km以下に減速して進入し、徐行で通行してください。万が一ETCバーが開かない場合は、一旦停止し、係員の指示に従ってください。もし、ETCバーを押し開いて通行してしまった場合はNEXCO東日本お客様センターへご連絡ください。

NEXCO東日本お客様センター
0570-024-024
(24時間) (24時間)
 PHS・IP電話のお客様：03-5338-7524

